

## 遅めの新年会：1 班 (2020/1/28)

TI

半年ぶりの班の集まりです。メンバー全員の 7 名（女性 4 名、男性 3 名）が集まりました。「遅めの新年会」と称したものの“新年”という意気込みは無く、単に年初めの月末に開いたランチ会のことです。場所は、懐石料理の「暖らん 入間店」です。昨夜に雪/雨予報が出て積雪の心配をしたのですが、夜半の小雪、そして冷たい降雨となりました。お出かけ日には適しませんが、そういう日もあるだろうということで開催しました（天を恨むことなく）。

仲良しのシニア達が集まれば、話題はおおよそ決まっています。健康・病気、人間ドック、脳ドック、高額医療費制度と先端医療制度、生命保険、親は長寿だったか、連れ合い、旅行などなどです。少し、専門レベルが上がって、法的効力を持たせる遺言、ノーベル賞とイグノーベル賞、シルバー川柳、塩をまくと雪はなぜ溶ける？などがありました。変わった所では、種々動物ペットとそのエサがありました。そして、コロナウイルスがあって、2022 年の北京オリンピックは大丈夫？まで。

メンバーの中に、「今も仕事をしている、今朝も朝番をやってきた」、「ローマに 10 日間旅行に行ってきた」、「大嘗宮（だいじょうきゅう）の一般参観にいった」、「専門講座の受講を考えている」という人あり。みんな女性です。女性の皆さんは元気、色艶も良い。

女性の平均余命が男性より長いことの再認識です。家に戻り調べました。平均余命は厚生労働省から 5 年ごとに発表されており、最新の 2016 年データによると、70 歳の男性の平均余命が 15.72 歳であるのに対し、女性は 19.98 歳と 4.26 歳も長くなっています。現在の男女の元気度の差がそのまま平均余命の差につながっていくものと思われます。

しかし、班で最も高齢の男性の I さんが、「最近筋力が落ちて、鉄棒の懸垂は 6 回ぐらいしかできなくなった」とサラリと言う。それを聞いた皆が、我が身の体力維持に関する管理努力の不甲斐なさを覚えました。身近な仲間の一言は、それを勧める健康食品のコマーシャルより良く効きます。仲間らの健康を気遣い合う気楽な雑談の中にも刺激があり、大いに楽しい食事会になりました。

今日の歓談の中で、下記の面白い話題の提供がありました。ご参考までに。

話題：愛称「F ライナー」の F の由来は？

西武池袋線・西武有楽町線または東武東上線から東京メトロ副都心線、東急東横線を経由して横浜高速みなとみらい線の間を運転する速達性の高い直通列車に、愛称「F ライナー」がついています。その F の由来を問うものでした。

皆が考え答える。速い「Fast」のイメージ。相互直通運転の



5社（西武鉄道、東武鉄道、東京メトロ、東急電鉄、横浜高速鉄道）を示す「Five」。答えは、2本の線路（西武有楽町線と東武鉄道）が1本の線路（東京メトロ副都心線）に繋がっていく線路イメージだという。西武鉄道のシニア関係者から教えてもらったそうです。

家に戻りインターネットで調べてみました。上記の5社の合同発表(Ref.1)によると、速達性をイメージする「Fast」、相互直通運転の5社を示す「Five」、「Fukutoshin（副都心）」の頭文字「F」が由来だそうです。由来のオリジナルは、3つの鉄道会社に付属する線路の繋がりイメージだったかもしれませんが、5社の合同発表に際して非公表にされたのかもしれません。

## 参考

Ref.1 副都心線で運転する、速達性の高い直通列車の愛称名を『Fライナー』といたします。(2015年12月18) (<https://www.tokyometro.jp/news/2015/788.html>)

